

# 細河地域 コミュニティニュース

第20号 10周年記念号

細河地域コミュニティ推進協議会  
NPO法人 細河みどりの郷

【事務所】

〒563-0013 大阪府池田市巾着原町216-2  
TEL/FAX 072-754-5711  
E-mail:hcms@iris.eonet.ne.jp  
URL <http://www.eonet.ne.jp/~midorinosato/>

## 議案

- 一、協議会会則一部改正
- 一、平成二十八年度事業実施報告
- 一、平成二十八年度会計報告並びに会計監査報告
- 一、平成二十九年度事業計画並びに予算
- 一、役員一部改選
- 一、その他

細河地域コミュニティ推進協議会（細河）、第十回（平成二十九年）通常総会が 五月十四日（日）細河コミュニティセンターに於いて開催されました。協議会会員・賛助会会員・地域各種団体・市関係職員、合計出席者三十八名により開催されました。左記議案について、審議され可決承認されました。

## 第十回 通常総会の開催



細河地域コミュニティ推進協議会事務所 & 細河みどりの郷観光案内所



第10回通常総会

平成29年度事業計画 総予算額 **9,079,000円**

事業名	予算額	概要
教育事業	875,000円	コミュニティ道路整備・こども会育成・グランドゴルフ場維持管理・ほそごう学園花いっぱいプロジェクト補助
住宅環境事業	985,000円	ホテル育成・里山環境管理（炭焼き・椎茸栽培含む）・街路灯管理
地域観光事業	850,000円	観光イベント（細河フェア）・農園果樹園運営・五月山ハイキング道整備管理・細河まつり支援
福祉事業	2,500,000円	高齢者等弁当声かけ宅配サービス（6,300食予定）
販売事業	530,000円	地場野菜販売
広報事業	560,000円	広報誌作成 20号 21号・HP維持管理・展示場維持管理
総務事業	2,779,000円	協議会運営経費・細河みどりの郷案内所維持管理・屋外トイレ設置・植木塾運営補助
合計	9,079,000円	

※総予算額にはNPO負担金も含まれています。

平成28年度事業

決算総額 **10,321,000円**

事業名	決算額	概要
コミュニティ道路整備事業	550,000円	伏尾台コミュニティとの交流を図る為、山道清掃及び防犯街路灯(5灯)を設置。
細中花いっぱい運動事業	25,000円	細郷学園と伏尾台コミュニティとの協働にて細郷地域内各施設に草花を育て配布する。
細河地域こども会育成事業	300,000円	地域子供会と協働で子供のふれあいの場(プール・スケート・お別れ会)を推進し地域子供会の育成を図る。
グランドゴルフ場管理運営事業	150,000円	地域活性化とコミュニティ意識高揚を図る為、グランドゴルフ場を運営管理する。
ホテルの育成事業	100,000円	ビオトープ等環境維持管理し、蛍が乱舞する地域を目差す。
里山環境管理	900,000円	放置されている森林・竹林など伐採整備し炭焼き・椎茸栽培など二次的な事業を行う。
森林山村保全事業	830,000円	国が推進した事業で森林・里山を保全する事業。
里帰りの桃移植事業	100,000円	和歌山から池田市に里帰りした「荒川の桃の木」2本伏尾台宅地から東山町特養ボプラ敷地に移植
街路灯維持管理事業	35,000円	私有地に設置した街路灯(4灯)の維持管理をする。
細河観光推進事業(細河フェア)	200,000円	自然環境や地場産業を活用し、細河PRイベント「細河フェア」を行う。
細河まつり支援事業	200,000円	コミュニティ意識の高揚を図るため地域住民が運営を行う事業を支援する。
市民農園事業	350,000円	遊休地農園を利用して菜園・果樹園として貸出を行う。
ハイキング道整備事業	150,000円	ハイカーが増え 五月山～木部・中川原の2ルートの維持管理を行う。
地場野菜等販売運営事業	730,000円	地場野菜即売・地域産品常設販売等、みどりの郷案内所を拠点として行う。
高齢者等配食サービス事業	2,804,000円	手作り弁当を宅配し同時に声かけ、見守りを行い高齢者の社会参加を促す。延べ116名/7,429食
地域コミュニティ誌発行事業	333,000円	推進協議会の活動内容を地域住民にPRする為、地域全戸に配布18・19号 4,400部 印刷・配布
細河ホームページ維持管理事業	191,000円	細河地域コミュニティ事業を市内・国内外に発信する。
細河観光案内看板更新	70,000円	細河みどりの郷をPRする為、訪れる観光客および地域住民にアピールする。
細河みどりの郷案内所運営事業	2,303,000円	協議会事務所運営・観光案内所運営・施設管理・事業推進・事務全般
合計	10,321,000円	

※ 決算総額にはNPO負担金・国交付金も含まれています。



各地域の協議会会員(五十一名)

● バードヒルズ地域

- ・濱田和利・安本三代子・高階早苗
- ・豊田徳四郎・豊田民子

● 梅の木地域

- ・巽 博一・小畑幸代

● 伏尾地域

- ・井上勇人・岡本隆寿・中西史三

- ・篠崎純士・福西由之

● 吉田地域

- ・柏木 博・山本浩巳・山庄司亮滋

- ・森 新二・藪内由美子

● 東山地域

- ・中尾好美・高田ハナ子・渡辺辰也

- ・法貴聡公・法貴啓子・小坂駕嗣

- ・吉野雅裕・横尾裕子・吉野 圭

- ・山脇英生

● 中川原地域

- ・西野佳彦・藪内勝美・田中壮介

● 北古江地域

- ・橋本 肇・谷端 隆・谷端健二

● 古江地域

- ・西村 章

● 南鼓ヶ丘地域

- ・吉岡加津子・今仲貞雄

● 木部地域

- ・金子昌義・中村昌弘

● 新宅地域

- ・秦 孝雄・岡本裕司・下村安正

● 地域外

- ・山野剛志

- ・中森正也

- ・岸本良子・木崎 裕・西原祐一

- ・溝口正孝・西留清信・秦 安美

- ・蔵前幸子



# 細河地域コミュニティの十年

ほそごう地域コミュニティ推進協議会  
(細河地区)会長 中西 史三

「地域内の共通課題の解決を図り、市との協働でまちづくりを進めていこうとする地域コミュニティ推進協議会」活動は、地域の皆様に支えられ、おかげさまで十年を迎えることができました。

私たちを取り巻く環境は、少子化と高齢化、細河小学校の閉校、山間部での大雨による避難勧告等、諸問題が多くあります。

私たちは、細河地区を緑のテーマパークとしてとらえ、多くの人々が行きかう活気ある街、子供たちが伸び伸びと元気良く遊び、高齢者が安心して住める街をめざして、地域の環境をいかに、この地に根付いたいろいろな活動をしてまいりました。

また、ほそごう学園の発足に合わせ、「ほそごう地域コミュニティ(細河地区)」に名称変更になりました。今後は伏尾台地区との共通課題や、この地域に見合った新たな活動を計画していったらと考えております。皆様におかれましては、お気軽に、みどりの郷事務所にお立ち寄り下さい。



福祉配食サービス

細河フェア(旧細小を拠点)



# 細河コミュニティ活動の十年

NPO法人 細河みどりの郷  
理事長 秦 孝雄

この制度は、平成十九年に条例化され、公募により市内各小学校区に十一団体が設立されました。

細河地域は当時の中島自治連合

会長の声掛けで各自治会長・実行組合長・賛同者がメンバーに入り活動をめました。

最初に植木産業の町として、どの様にアピールしていくかをテーマに考えていこうという事になり、大阪大学の加賀教授と学生を招き、協議会メンバー全員で二年間に渡り細河の環境・歴史・生活に至るまで勉強し、また外部の人が見た現状の細河等、研究・視察・協議を重ね細河の将来構想案をまとめていただきました。

この構想案に基づき、短期・中期・長期と目標を掲げ活動を行っていきますので、協議会のメンバーが変わっても事業は継続されていきます。構想案の関連事業が増々拡大して、良い方向に向かっていきます。

この様なことから、他の協議会の模範となっております。



椎茸栽培



炭焼き

今後も細河地域が活力ある街になるようメンバー全員頑張っていきますので、よろしくご協力をお願いします。



細河振興構想研究会



余野川堤防敷桜植栽

# 福祉配食サービスの十年

十年ひと昔と申しますが、細河地域の皆様のご協力のもと、沢山のぬくもりの積み重ねで今日を迎えることができました。

始まりは現プ  
ラット池田の調理場をお借りしての配食サービスの出発でした。当時は一日三〇食前後で、汁物・果物を付けて一食四〇〇円を頂いていました。

配食サービスを知って頂くために各地区自治会長様へご挨拶に伺いご理解のお願いもしました。そして平成二十四年九月に旧細河幼稚園に新しく調理場が完成して使用時間の制限もなくなり、現在の一回一〇〇食を越える数もこなせるようになりました。

先日、利用者の皆様にアンケートのお願いをしましたところ、お弁当への要望の中に回数を増やして欲しいという回答が多く、福祉部としてご期待に応えたい想いはありますが、市から頂く予算の中でのやりくりで頭の痛い問題です。

また物価も上る中、地域の方々からお野菜や果物を提供して頂けるという嬉しい感謝の中で一食三〇〇円を続けられるよう頑張っています。



配食弁当



声掛け宅配

初めから大切に守っている見守りと声掛けを常に心がけて、私達も利用者さんから元気を頂いたり、笑顔でのつながりを楽しみに頑張っています。

細河配食センター



弁当調理



# 販売事業の十年

協議会発足当時、この細河地域にどうしたら多くの人が集まってもらえるか、検討を重ねました。何百年も続く植木産業を取り入れた、町起こしも種々検討されました。近年、植木の需要が特に減



野菜朝市開始 (当初)



野菜販売

少し、細河地域でも植木畑に野菜を作る家庭が増えてきました。その地場野菜を販売し集客を図り、野菜生産者にも活躍の場を提供できる事から「安全・安心・安価」な、地場野菜の朝市を開始しました。当初は、販売場(青天井の川風吹きさらし)のみで土台の酒箱・棚板等全て寄付にて調達し、出店会員数十名にてスタートしました。予想以上の人気にて、行列が中川原橋まで及ぶなど、また駐車場も狭く通行に支障をきたす等、近隣に迷惑をかけた事もありました。

その後、年毎に改善されテント・防風幕・陳列台・レジ機・ラベルプリンターなど設置され販売所らしくなってきました。今後についても、細河地域の活性化に向けて地場野菜販売を進めていきますので、よろしくご協力お願いします。

地産物品販売



野菜朝市 (現在)



## 過去10年の事業

	事業名	実施時期	事業内容
継続事業	細河観光振興構想策定	H20～H21	大阪大学院教授を迎え細河観光振興について検討研究し、構想案を策定した。
	細河小学校校庭芝生化	H20～H23	生徒の活動を快適化する為、校庭を芝生化し、自動灌水装置などもうける。
	防犯街路灯設置	H20～H25	各地域の不備な場所及び住民から要求のある危険な場所にブルーライト防犯灯を設置する
	細河観光案内所協議会事務所運営	H20～H29	観光案内・事務所運営・事業推進・施設管理・事務業務など
	高齢者等声かけ配食サービス	H20～H29	高齢者・社会的弱者等のために昼食弁当をつくり声かけと共に宅配を行う。
	細河コミュニティ誌発行	H20～H29	推進協議会活動を広く住民にPRする為また地域の話題・ニュースもお知らせする。
	細河ホームページ開設及び維持	H20～H29	最新の地域情報を適時に地域はもとより市内外日本全国に発信する。
	地域内散策及びハイキング道整備	H20～H29	地域内散策ルート策定・五月山へのハイキング道の復活整備及び散策マップ・ハイキングマップ作製
	蛭育成事業	H20～H29	細河の自然環境を守る目的にてビオトープを設け蛭の生育を保護する。
	細河まつり支援	H20～H29	細河コミュニティの交流を推進する為支援する。
	小学児童の安全対策	H21～H22	学校と地域連携し防犯講習会実施・通学安全マップ・110番小旗・ステッカー配備
	健康講座・メタボ予防教室	H21～H23	地域の自然食材活用した健康講座開催・メタボの正しい知識を習得し予防する教室
	エコ資源化	H21～H26	樹木剪定枝の処理及び利用(肥料化)調査研究
	地域各種団体要望補助	H21～H26	細河見本園改修・町道補修・公園改良・山部軽微な補修の補助
	グランドゴルフ場設置及び運営	H21～H29	高齢者の健康増進及び地域コミュニティ意識高揚を図る。
	メロディーチャイムの復活	H22～H24	地域内広範囲に、お昼時また夕方を知らせるメロディーを1日2回流す。故障中の設備を修復し復活させる。
	地場野菜・地域産品販売	H22～H29	地域の活性化を目的に細河に多くの人を迎え地場野菜・手作り産品等を提供する。
	レクリエーション大会支援	H23～H26	コミュニティ意識の高揚とスポーツ奨励の為、住民運動会を支援する。
	余野川堤防桜植栽	H23～H27	地域美化の目的にて高橋東詰～中川原橋東詰の堤防敷を(一部を除く)桜連続植栽
	ふれあい観光イベント	H23～H29	スタンプラリー・ミステリーツアー・細河フェア(農業体験)を行うふれあい交流の場
コミュニティ道路の整備	H23～H29	細河と伏尾台を結ぶ山道を整備しコミュニティ間の交流を図る。伏尾台地域コミュニティとの協働事業(舗装化・安全手摺・防犯街灯)	
余野川アドプトリバー管理	H23～H29	中川原橋付近の河川敷きの通常管理を大阪府から委託を請け行う。バーベキュー場にも利用	
森林・里山管理事業	H24～H29	森林の間伐、里山・竹林の伐採等、間伐材にてベンチづくり 一薪づくりクヌギ・榎など椎茸の原木栽培、竹炭・菊炭づくり	
地域子供会育成	H24～H29	地域子供会の存続及び復活させる目的にて地域子供会を束ねる。	
市民農園・果樹園の運営	H25～H29	遊休地を市民に開放し農作物を通じ世代間の交流促進、土に触れる喜び癒しの場を提供	
単年度事業	不法投棄防止	H20	東山町山間部に禁止看板設置
	コミュニティ車調査	H20	シェアカーを細河に置いてみる。実検調査
	レンタサイクル検討	H21	細河に誘致の研究調査
	「細河の四季」写真コンテスト	H23	細河の魅力をPRし認識してもらう為に開催、入選作品は観光絵はがきに。作品は観光案内所に展示されている。
	里帰り桃の木移植	H28	和歌山から池田市に里帰りした「荒川の桃の木」2本を伏尾台宅地から東山町特養ポプラ敷地内に移植する。

# 過去10年間の事業写真集

## 細河観光振興構想策定



## 細河フェア音々



## 福祉配食事業の音々



## 防犯・防災

### 細河地域 犯罪・災害発生状況 H29/1/1 ~ 4/30 (H28/1/1~12/31)

犯罪		災害	
● 空き巣・侵入	1件 (4件)	● 交通事故	21件 (50件)
● バイク・自転車盗難	3件 (3件)	● 火災	0件 (0件)
● 自動車盗難	0件 (1件)	● 水害	0件 (0件)
● 車上ねらい	1件 (3件)	● 地震	0件 (0件)
● 自動車部品ねらい	0件 (3件)	● その他	0件 (0件)
● ひったくり	0件 (0件)		
● その他	0件 (6件)	(自販機狙い2件・賽銭狙い2件・万引き2件)	

※ H29/4/30未明 協議会事務所の雨戸を壊しサッシ窓ガラスを割り賊が侵入し、金品を掠奪逃走しました。



# ええトコ 池田市立 細河コミュニティセンター

細河地域各種団体の活動にまたダンス教室・料理教室・キッズの教室・住民の憩いの場として利用して頂けます。



市立 細河コミュニティセンター全景



案内図

- 場所** 池田市東山町 617-1
- 施設** 会館1棟
  - ・多目的ホール 洋室 140㎡ (42畳x2室)
  - ・講座室 洋室 40㎡ (24畳)
  - ・談話室 (和室 12畳 和室 10畳)
  - ・ピンク公衆電話 1台 (発信のみ・受信不可)
  - ・外部駐車場 15台可
- 施設管理者** 池田市地域分権協働課 ☎072-754-6641
- 日常管理者** 細河コミュニティセンター管理運営委員会
- 使用受付** 月曜・水曜・金曜日の午前10時から12時迄  
 ※予約受付は1か月前の同日から  
 ※利用者は細河各町自治会長宅に鍵を受け取り返却してください。



多目的室



料理教室



談話室 (和室) 2室



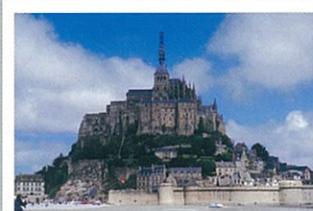
講話室



## 後編 地球一周 ピースボート105日の旅

投稿コーナー  
東山町 T氏

寄港地はマレーシア、シンガポール、スリランカ、キプロス、ギリシア、イタリア、スペイン、ポルトガル、フランス、イギリス、ドイツ、スエーデン、ロシア、フィンランド、デンマーク、ノルウェー、アイスランド、カナダ、ベネズエラ、キュラソー、パナマ、グアテマラ、ハワイと二十三箇所です。  
 東南アジアは、表通りは綺麗でも裏通りは廃墟の様な住居、街中を走る沢山の古びた三輪タクシー。  
 ギリシアのサントリーニ島は、エーゲ海を望む山肌に白い建物が張り付く様に建ち並び石段の多い美しい島です。  
 フランスのモン・サン・ミッシェルでは干潮時、広い干潟を子供達が裸足で走り回っていました。  
 北欧では白夜を経験しました。日の出 一時三〇分、日の入り 四時四十五分一日中昼の様な明るさです。世界的な暖冬の為か殆ど冬物は要らない位で、現地の人には公園で半袖で日光浴をしていました。北極圏通過時には初めて流氷や冰山を見る事が出来ました。カナダのプリンス・エドワード島では赤毛のアンの家を見学しました。  
 中南米ベネズエラは、この船と一番交流が深い様で現地と友好フェスティバルの催しが開催されました。  
 グアテマラではマヤ最大の遺跡ティカルの見学。ジカ熱の予防が重要との事で暑い中、長袖長ズボンと重装備で出掛けましたが、他の観光客は半袖半ズボンと軽装なのに驚きました。  
 百五日間の旅で寄港地二十三ヶ国。見学は各国一箇所位しか出来ません。船旅は魅力ですが殆どが大海原の船の中色々な講座が開かれています。次は一ヶ月位がいいなと思いました。



フランス モンサンミッシェル



ピースボート



フィンランド フィヨルド



カナダ 赤毛のアンの家



パナマ共和国 パナマ運河

# 細河歴史・文化遺産

細河歴史街道 余野街道一

余野街道は新町辺りで能勢街道から分岐して、伏尾町の久安寺、箕面市止々呂美、豊能町余野を経て、京都府の亀岡に至る道で、国道423号と似たルートをたどります。余野街道という名称は、明治時代中ごろ以降のもので、江戸時代の道標には「亀山道」あるいは「久安寺道」と記されています。このほか「撰丹街道」「関明神越」という呼び方もあります。

## 余野街道を歩く

それでは余野街道を歩いてみたいと思います。余野街道が能勢街道から分岐するところは新町の道標の辺りと考えられます。その道標の指示の通り右側の山沿いの細い道を北に進みます。しばらく歩くと国道と合流してしましますが、木部の信号の所で右手に折れ、最初の角を左に曲がります。東側には紀部神宮、曹洞宗の永興寺が位置します。永興寺には平安時代後期(約1100年前)



細い道を左北に進む



紀部神宮



永興寺



十一面観音立像



松操寺



青畝の句碑



新町の道標



山沿いの細い道



案内地図

## 青畝の句碑

松操寺の境内には「手すさびに尼のつくろふ垣根裁 青畝」と刻まれた阿波野青畝(1899~1992)の句碑があります。阿波野青畝は俳人で、高浜虚子の門に入り、その後、主宰誌「かつらぎ」を創刊、俳句雑誌「ホトトギス」の同人となり、水原秋桜子・高野素十・山口誓子と共に4Sと称せられた重鎮です。青畝は池田在住の画家・樫野南陽(1887~1956)と交流がありました。

の十一面観音立像があり、市の文化財にも指定されています。また、200mほど北に松操寺という曹洞宗のお寺があります。



山沿いの細い道



木部の信号



南陽はたびたび松操寺を訪れていました。そのことから、青畝は南陽と共に訪れていたようです。南陽が昭和31年に亡くなり、その翌年から青畝の弟子で北摂に縁のある人たちが南陽の命日に松操寺で句会を開くようになります。そして平成4年の37回忌前に記念の句碑が建立されました。除幕式は同年7月に行われ、青畝自身も出席しましたが、それから5カ月過ぎた12月にこの世をさりました。